

比叡山延暦寺と近江商人(その二)

2/20/2016

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

後編は、「近江商人」の足跡等について旅で見聞したことを記したいと思います。そして、彦根城と「ひこにゃん」の登場です。この旅の3日間は、朝降っていた雨がでかける時には止み、また途中で小雪が舞うこともありましたが、これらは冬を思わせるよき旅情でした。

近江商人の足跡

「売り手よし、買い手よし、世間によし」という、近江商人の格言として有名な「三方よし」の理念は現在の東近江市五箇荘の中村治兵衛家の二代目宗岸の遺言状に記してあったものとわかりました。それを現代になって滋賀大学の小倉栄一郎教授が、近江商人文化を世に知らしめるために「三方よし」という言葉にまとめたようです。実際に、その遺言状を見てきましたが、「三方よし」という言葉はありませんでした。しかし、現代人にとっては近江商人を知るには大変判りやすい言葉です。

近江商人とは、近江の国の出身商人を言う言葉で、「近江の国」の中では、その出身地ごとに「八幡商人」、「日野商人」、「五箇荘商人」、「高島商人」、「長浜商人」・・・などと呼ばれています。今回は、その中から、八幡商人の地元近江八幡市と、五箇荘商人の地元東近江市を訪ねてきました。

近江八幡市では、昔ながらの街並が残っており、周りの静けさとともに歴史のある街でした。西川家や伴家住宅を見学しました。丁度季節柄、雛人形が飾られており当時の華やかをしのぶことができました。西川家の系統のひとつに現在の「ふとんの西川」があります。またこの地で、「近江商人」の血を引いている企業は、前回号で記した「たねやグループ」があります。また、明治時代に創業した「メンターム」の近江兄弟社もそうです。本社工場があり資料館を訪ねてきました。この近江兄弟社は米国人であったヴォーリスが1905年にキリスト教の伝道を志し、八幡商業高等学校の英語教師として赴任したのがきっかけでした。その後キリスト教の精神に基づき信仰と事業を両立させました。その一つが「メンソレータム(途中で商標権を失う)」だったのです。現在では、教育、福祉施設、医療施設の社会的貢献度の高い事業も行っています。

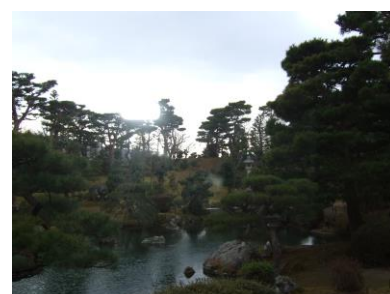
次に、東近江市に「五箇荘屋敷」の代表的な「藤井彦四郎邸」を訪ねました。絵巻作りの迎賓館で迎えてくれた説明員は元高校の先生とあって、愉快地丁寧な話をしてくれました。藤井氏は、明治時代に絹(蚕)に代わる「人絹」の販売や、「スキー毛糸」の製造販売で財をなしました。それは彼の持つ進取の気性が多いに影響していたようです。その財をもって、当時たんぼの中にこの迎賓館を作り、多くのお客様を招いたようで、宮家の人を迎えた間がありました。また庭は全国の松の銘木を移築し、風情のある庭園になっていました。



近江八幡市内



近江兄弟社の本社



藤井彦四郎邸

そもそも、なぜ近江商人が世に出て行ったのでしょうか？ 今回の旅でわかったことは、1500年代の織田信長の経済政策にあったようです。つまり、経済を発展させるため、「楽市楽座」に大きく影響しているとのことでした。つまり、自由に店を出店して、またどこにでも出かけられるようにした政策だったのです。規制をなくし、自由に商売ができ、地元の蚊帳や畳表などの商品を全国にかついで商売していたというのです。

現在でも有名な企業の創業家では、流通業では高島屋(飯田新)、セゾングループ・西武グループ(堤康次郎)、大丸、商社では伊藤忠・丸紅、住友財閥、双日(日商岩井、ニチメン)、また農業機械のヤンマー、アパレルのワコール、東洋紡などです。

「ひこにゃん」と彦根城

日本で、国宝となっている城は5つあり、そのひとつ「彦根城」への訪問です。この城の特徴のひとつは、3年で築城させ、その後城下を20年近くにわたり完成させたことです。城主は井伊直弼(徳川時代後期の老)の先祖です。この彦根の土地は、江戸時代のはじめには、東の伊吹山や西の大坂から、また北の方からみて、重要な防衛の要所となっていたところなので築城を命ぜられました。しかし、短期間に完成させなくてはならないため、北にある長浜城や、隣の佐和山城などの城を解体して、その柱や瓦などを用いて作ったというのです。説明員の方は他に、この城は「芯」が無くても、曲がった木を梁として用いて強度を保っているというのです。いろいろな話を聞けてとても楽しい時間でした。

また、「玄宮園」といって、茶会を催すことができる茶室があり、その眼下には広大な縮景庭園が広がっていました。お茶と和菓子をいただき、しばし庭園を堪能しました。また茶室の隣には個人が経営する「八景亭」という宿泊できる旅館があると聞いて驚きでした。彦根城内には、民間の旅館もあり、また中学校や高校もあり教育に勤しんだ土地柄ということもわかりました。



私が実物を見た「ゆるキャラ」は「ひこにゃん」が初めてでした。30分間の出番では、ゆるやかな仕草に観光客も大笑い。たいへん和やかなひと時でした。この彦根は「招き猫」の発祥地ということもあり、誕生したキャラクターのようです。